

令和6年度 事業報告

令和6年度は、自動車運送事業における時間外労働の上限規制が適用され、輸送能力の低下が懸念される物流の「2024年問題」に直面し、運送業界全体が大きな転換期を迎える一年となりました。まさに「変革の年」と言えます。

我が業界は労働集約型産業であり、残業時間の上限規制適用の影響もあって、人手不足感は過去最高の水準に達しています。このように慢性的なドライバー不足に加え労働時間の短縮に取り組まないといけなくなったことから輸送能力は低下し、従来当然のように行われてきた長距離輸送や翌日配送等についても見直しの必要性に迫られることとなり、その対応が年々困難になっております。また輸送サービスの低下が招く日本の経済活動全体に与える影響は計り知れないものとなっています。このままトラックドライバー不足が続くと2030年には輸送能力は更に19.5%(5.4億トン)が不足し、2024年問題の影響と合わせて輸送能力の34.1%(9.4億トン)が不足する可能性があります。

人手不足の問題を解決する1つの要因である賃上げや労働環境の改善が大きな課題です。トラックドライバーを魅力的な職業とする為には、原価や人件費の上昇を理解した適正な運賃の支払い、輸送の効率化に繋がる積載率の向上や荷待ち・荷役時間の削減など荷主の理解・協力が必要不可欠です。

荷主の理解・協力を促進するために2025年4月に改正物流法が一部施行されました。真荷主とトラック運送事業者は相互に荷待ち・荷役等の附帯作業の有無やその対価等を書面によって交付するように義務付けられました。また、荷主には「トラックの積載率向上」と「荷待ち・荷役時間の削減」が努力義務とされています。改正物流法の施行及び国の取り組み強化により、荷待ち・荷役時間の削減や適正な運賃での契約が進み、トラックドライバーの働き方改革が進むことを期待いたします。

令和6年3月、日本銀行は長期にわたる金融緩和を見直し、マイナス金利を解除するなど、金融政策の正常化に舵を切りました。これにより金利が上昇し、運送業界でも車両購入や運転資金の調達コスト増が懸念されています。円高が進めば燃料輸入価格の抑制要因となりますが、原油価格は国際情勢に左右されやすく、実際に燃料費の高止まりは依然として運送業界の大きな負担となっており、輸入コストも上昇傾向にあります。

こうした中、令和6年度も三重県による「燃料高騰対策支援金」の支給が実施され、事業者の一助となりました。そして長年業界が訴えてきた「送料無料」という表示が、物流コストを適正に評価しにくくしているという問題が、ついに国や消費者の関心を集めるようになりました。国土交通省および消費者庁からは、事業者に対し表示の見直しを促す方針が示され、今後の消費行動や物流契約の在り方に一定の影響が出てくることが予想されます。

全日本トラック協会が作成した改正物流法や標準的運賃の冊子を使用し、三重県トラック協会では説明会の開催及びダイレクトメールの送付を行い、会員及び荷主の皆様へ周知広報をいたしました。あわせて新聞広告の掲載、関係先諸団体へも周知等を行い状況の理解促進と協力要請を行って参りました。また一般の方々に向けて運送事業を知って頂くためにテレビ／ラジオやイベントの開催により運送事業のPRに務めるとともに、女性や高齢者の活用も進めながら、多様な働き方への対応をお示ししています。

令和6年度も上記のほか下記の諸課題に対する取り組みを、全日本トラック協会と連携し推進して参りました。

1. 交通安全対策事業

全日本トラック協会では「トラック事業における総合安全プラン2025」を策定し、事業用トラックを第一当事者とする死者数と重傷者数の合計を車両台数1万台当たり「6.5人以下」とする目標と「飲酒運転ゼロ」を策定しています。この目標に向け、三重県トラッ

ク協会では、四期の交通安全運動に合わせ、集中的に広報・啓発を行ったほか、プラン2025目標達成セミナー、健康管理セミナー、健康起因事故防止セミナーを実施するとともに、「安全宣言200days」で無事故無違反ラリーの参加を募り、達成チームの表彰を行いました。また、新人ドライバー対象の「初任運転者研修」は、Eラーニングでの教育を加え実施致しました。また、陸上貨物運送事業労働災害防止協会と合同で「陸運事業者のための安全マネジメント研修」も実施致しました。

そして「特殊車両通行許可や確認制度、オンライン申請」の研修セミナーも実施致しました。

2. 環境対策事業

10月9日「トラックの日」は県下各支部において道路の清掃活動を実施しています。

また、会員事業所に交通安全と環境保全ののぼり旗を配布した他、「環境にやさしいトラック輸送」宣言事業所の募集をするなどの取り組みを行いました。

3. 近代化対策・事業経営対策事業

適正な運送原価の把握と標準的な運賃を活用して荷主交渉を行えるよう「標準的な運賃活用／運送原価セミナー」を2日間コースにて行いました。併せて「運賃交渉等相談会」も開催しました。2024年問題に対応すべく「個別相談窓口」を開設して会員様からのご相談をお受けし、必要に応じて社会保険労務士などの専門家をご紹介しました。

また、今後起こりえる南海トラフ地震に備えるため「物流セミナー」では、「能登と日向灘に学び南海トラフ地震に備える」をテーマに現状の課題や復興に向けた取り組み、今後活用できる防災対策や防災情報について講演を行いました。そして令和7年7月に運用開始が予定されている「高速道路の深夜割引制度の見直し」について説明会を開催し周知に努めました。

4. 労働対策事業

適正な運送原価の把握と標準的な運賃を活用しての荷主交渉について赤字とにならないよう「標準的な運賃及び新標準運送約款説明会／経営課題解決セミナー」を開催し、講ずべき施策の研修を行いました。

物流の効率化と持続可能な運営を目的とした改正貨物自動車運送事業法について国土交通省、中部運輸局、経済産業省、公正取引委員会の方々をお招きし運送事業者はもちろん荷主に対しても内容の周知と対応策、課される義務と努力義務の違いを学んで頂き、重要事項を正しく理解・実践して頂く事を目的として「物流クライシス 2024-II」「物流革新2025」などのセミナーを開催いたしました。「働きやすい職場認証制度」の周知とともに、認証条件に対応できる職場づくりの支援セミナー等を実施しました。人材不足が喫緊の課題となっている事を踏まえハローワーク津・四日市と合同で「運送業会社説明会」を実施し合同説明会の様な形式で求職者と直接対話できる場を設けました。また、ITやデジタル技術を活用して物流業務の効率化や省人化を図る取り組みの一環を理解する場として「物流DXの動向説明会」を実施しました。近年はAIやIoTを活用した自動化・機械化の取り組みが始まっており、業界全体でDX（デジタルトランスフォーメーション）が進められています。ドライバーの荷待ち時間の短縮や車両の稼働率向上に向けて、各種ITツールの導入が進められています。これらの効果が発揮されれば、労働時間の削減や生産性の向上につながると考えられます。

その他、安全性優良事業所Gマークの推進と引越事業者優良認定のための管理者講習を実施したほか、トラック業界からの税制・予算要望を地元選出国會議員におこない、自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現、特例優遇措置の延長・拡大、高速道路料金の大口・多頻度割引最大50%の継続等を要望しました。また、道路ネットワークの整備、P・A・S・Aでの駐車場拡充など、諸課題への対策実現に向けた関係行政機関への要望活動も展開致しました。実施事業の詳細は次ページ以降に記載しております。

1. 会員の入退会状況

支部	期首 会員数	入会	退会	支部間移動		期末 会員数
				転出	転入	
桑員	102		1	1		100
北勢	299	2	9	2	1	291
鈴鹿	170		6		2	166
津	126	4		1		129
松阪	130	5	1		1	135
南勢	69	1				70
伊賀	94	4	5			93
紀北	23		1	1		21
南紀	8					8
旧営業区域	5		1			4
利用運送事業	19		1		1	19
合計	1,045	16	25	5	5	1,036

① 入会員名

会社名	代表者	所 在 地	区分
(株)ハート引越センター 四日市センター		四日市市野田2丁目7番4号	北勢
(株)プロモイタル	増井 洋介	三重郡菰野町大字永井3067番地86	北勢
アライアンス物流(株)		津市安濃町安濃2185-4	津
(株)TEAMS 津営業所		津市高茶屋小森上野町大新田1300-1 コカ・コーラボトラーズジャパン(株)内	津
ヘラクス(株) 三重営業所		津市河芸町東千里1100	津
(株)本レッカー 津営業所		津市城山3-4-41	津
(株)アイエムサービス 三重事業所		多気郡多気町五佐奈673	松阪
(株)NIカンパニー	中村 宜之	松阪市平成町27-3	松阪
(株)エフリンク		松阪市下村町21-1	松阪
(株)NAKOSHI		松阪市伊勢寺町846-2	松阪
松阪資源開発(株)運送事業部	辻下 洋	多気郡多気町前村541	松阪
(株)Dream 本社営業所	竹内 小百合	度会郡玉城町坂本23番地1	南勢
(株)新星運輸商事 伊賀営業所	佐野川谷 裕之	伊賀市御代919	伊賀
司関西(株) 伊賀営業所		伊賀市西明寺3209-3	伊賀
(株)東昇		伊賀市菖蒲池1582-2	伊賀
(株)ロジクルライン	伊達 政博	伊賀市山神803-1	伊賀

② 退会員名

会社名	代表者	所 在 地	区分
日本ルートサービス(株) 桑名事業所		桑名郡木曾岬町大字三崎601-1	桑員
旭運輸(有)	橋本 喜弘	四日市市大字塩浜572番地1	北勢
木邑建設(株)	木邑 雅彦	四日市市日永3丁目2-14	北勢
(有)ジンライン	西浦 正仁	三重郡菰野町大字竹成字北追上286-5	北勢
東桑運送(有)	福田 武史	三重郡川越町当新田338-1	北勢
日通三重自動車運送(株)	伊藤 一彦	四日市市垂坂町字山上谷1340番地8	北勢
(株)ニュージェイズ	高橋 文弥	四日市市小古曾3丁目2-15	北勢
(株)星川産業 四日市営業所	鶴田 隆	四日市市内堀町118-1	北勢
(株)メルワード・ライホー 三重支店	石津 智司	四日市市末広町17-14	北勢
(有)山下技建	山下 達也	四日市市ときわ四丁目6-14	北勢
(有)大廣商事	大廣 祐一	鈴鹿市下箕田2丁目2-36	鈴鹿
(同) S P I R A L N E T	伊達 秀彰	鈴鹿市住吉5丁目8-25	鈴鹿
(有)ティーエス・キャリー	杉浦 徹	鈴鹿市岸岡町3090-50	鈴鹿
野呂物流(株)	西川 純司	亀山市天神2丁目3601-1 西川運輸(株)オートサービス内	鈴鹿
(株)F A R W E S T 鈴鹿営業所		名古屋市緑区大高町西正地5-1	鈴鹿
(株)ロジスティクス・サポート 鈴鹿営業所	大湯 正和	亀山市川崎町1145-1 フラワーアイランドのぼのB215号	鈴鹿
大台運送(有)	大西 智明	多気郡大台町上三瀬867-2	松阪
上野運送(株)	楠本 佳弘	大阪市都島区東野田町4丁目1番17号	伊賀
(株)M I ロジ	伊澤 正弘	伊賀市依那具378-2	伊賀
静谷製絲(株) 本社営業所	静谷 勉	伊賀市小田町1687-2	伊賀
(有)ユウケイ物流	村田 光晴	伊賀市千歳1408番地7	伊賀
ワコウ急配		名張市富貴ヶ丘6番町117番地	伊賀
(有)小倉葬具店	小倉 孝志	尾鷲市坂場西町24-14	紀北
(有)サクラテック	曾根 智子	四日市市富士町1-147	利用
東陽物流(株)	黒田 城児	名古屋市港区金城ふ頭1丁目1番地	旧区

2. 会議等の開催状況

・政策協議会

年月日	議事事項
令和6年5月8日	①令和6年度 総会議案等について (1)令和5年度 事業報告・公益目的支出計画実施報告 (2)令和5年度収支決算報告(貸借対照表、正味財産増減計画書) (3)役員改選について (4)令和6年度事業計画及び収支予算 ②運転者表彰規定に基づく被表彰者候補について ③令和6年度通常総会開催要領について
令和6年7月3日	①全ト協、中ト協、関係団体、三ト協委員会等の構成について ②当面の事業推進(新年度事業)について ③政治資金パーティーの開催について
令和6年9月18日	①2024年問題への対応 会員相談窓口とアンケート調査 ②令和6年度 緊急輸送等防災訓練スケジュールについて ③全日本トラック協会全国事業者大会について
令和6年12月11日	①令和6年度の助成事業の状況 ②各委員会からの報告(業務運営委員会・危機管理検討委員会) ③令和7年度事業計画(骨子)について ④当面の諸問題 (1)2024年問題対応窓口 (2)「物資流通効率化法」「貨物自動車運送事業法」改正 (3)高速道路料金深夜割引制度見直し (4)業務前自動点呼等物流DXの動向
令和7年3月5日	①令和6年度 事業の進捗と助成事業の状況 ②令和7年度事業計画(基本計画)、適正化事業予算(案)、助成事業概算予算案(案)について ③当面の諸問題 亀山TS環境対策について

・理事会／交付金運営委員会

年月日	議事事項
令和6年5月22日	①近代化基金融資制度 第2次融資推薦について ②令和6年度総会上程議案について (1)令和5年度事業報告及び公益目的支出計画実施報告 (2)令和5年度収支決算報告(貸借対照表、正味財産増減計算書) (3)役員改選について (4)令和6年度事業計画並びに収支予算 ③運転者表彰規定に基づく被表彰者の決定 ④令和6年度通常総会 開催要領 ⑤その他

年月日	議事事項
令和6年7月18日	①県ト協各委員会の選任について ②当面の事業推進(新年度事業)について ③トラックの日の行事について ④近代化基金 融資制度 第3次融資推薦について
令和6年10月18日	①助成金の進捗状況について ②近代化融資の推薦について ③各委員会報告(業務運営、適正化、危機管理検討委員会) ④物流セミナーの開催計画 ⑤2024年問題への対応 ⑥行政が行う防災訓練参加と物流専門家研修の開催 (1)三重県総合防災訓練(鈴鹿市・志摩市) (2)広域防災拠点実動訓練 (3)災害物流専門家研修 ⑦トラックの日関連行事 トラックフェスタの開催(青年部会・女性部会)
令和7年1月15日	①各委員会からの報告(業務運営委員会・危機管理検討委員会) ②令和6年度の助成事業の状況 ③助成金制度の一部変更について ④適正化事業の報告 ⑤近代化基金融資制度の申込みと推薦 ⑥当面の諸問題等 ⑦令和7年度事業計画 基本方針について
令和7年3月19日	①令和6年度交付金及び一般会計予算執行状況の承認について ②令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認について ③令和7年度 近代化融資制度推薦について ④会費未納会員(資格喪失)の取扱について ⑤今後の行事日程について

・業務運営委員会

年月日	議事事項
令和6年7月30日	①業務運営 所管事業の確認 ②正副委員長の選出 ③令和6年度の業務運営 (1)安全宣言200days (2)ハローワーク合同就職説明会・物流見学会 (3)新たに追加・内容が変更された助成金制度について (4)全ト協 経営診断・経営改善支援・運賃交渉支援事業について (5)2024年問題の課題解決 物流改善にむけての重要説明会の開催 「運べない 届かない危機 物流クライシス2024-II」
令和6年12月3日	①2024年度の事業運営ならびに助成金の執行状況と次年度助成金 ②物資の流通の効率化に関する法律と改正貨物自動車運送事業法

年月日	議事事項
令和7年2月28日	①三重県燃料高騰対策支援金等について ②今年度の事業運営状況 ③次年度の事業計画策定にむけて ④助成金の進捗状況と次年度助成金 ⑤最近の情勢や意見交換

・適正化運営委員会

年月日	議事事項
令和6年7月29日	①令和6年度適正化事業の事業状況報告 ②令和6年度巡回訪問の結果報告 ③令和6年度物流セミナーについて
令和7年2月17日	①令和6年度適正化事業の報告 ②令和6年度巡回訪問の結果報告 ③令和7年度適正化事業計画（案）・事業予算（案） ④令和7年度物流セミナーについて

・適正化事業実施機関評議委員会

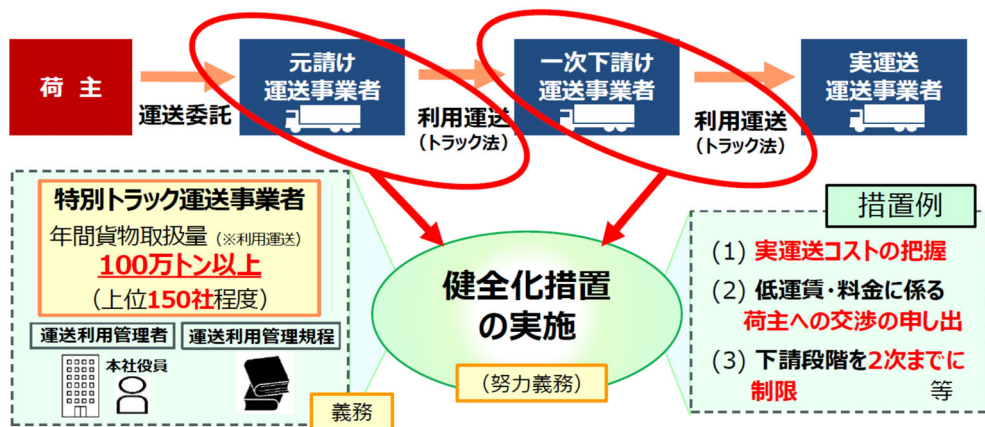
令和7年3月14日	①令和6年度適正化事業報告 ②令和6年度巡回指導結果報告 ③令和7年度適正化事業計画
-----------	--

・危機管理検討委員会

令和6年7月30日	①副委員長の選出について ②令和6年度 三重県総合防災訓練他 各防災訓練の予定について ③今後の委員会運営、取組について ④その他
令和6年12月3日	①委員会規約の変更について ②今年度の防災訓練実施報告及び今後の訓練スケジュールについて ③今後の課題、次年度計画について
令和7年2月28日	①令和6年度 事業実施報告について ②今後の課題 次年度事業計画について ③その他／意見交換

3. 重要事項／重点取組み

項 目	内 容	補足事項
流通業務総合効率化法の改正	【すべての事業者】 ①荷主(発荷主、着荷主)、②物流事業者(トラック、鉄道、港湾運送、航空運送、倉庫)に対し、物流効率化のために取り組むべき措置について努力義務を課し、当該措置について国が判断基準を策定。 上記①②の取組状況について、国が当該判断基準に基づき指導・助言、調査・公表を実施。	【一定規模以上の事業者】 左記①②の事業者のうち一定規模以上のもの(特定事業者)に対し、中長期計画の作成や定期報告等を義務付け、中長期計画の実施状況が不十分な場合、国が勧告・命令を実施。 特定事業者のうち荷主には物流統括管理者の選任を義務付け。
貨物自動車運送事業法の改正	運送契約の締結等に際して、提供する役務の内容やその対価(附帯附随業務料、燃料サーチャージ等を含む)等について記載した書面交付等を義務付け。 運送体制の明確化を図るため、元請事業者に対し、実運送事業者の名称、請負階層等を記載した実運送体制管理簿の作成を義務付け。 他のトラック運送事業者が行う運送を利用する場合、一定の発注適正化措置(＝健全化措置)を講ずることを努力義務化。	一定規模以上の事業者に対し、運送利用管理規程の作成、運送利用管理者の選任を義務付け。



業務記録における荷待時間・荷役作業等の記録義務の対象となる車両運送を、現行の「車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上の車両」から、全ての車両に拡大する。
(輸送安全規則第8条関係)

荷待時間：荷主都合の待機時間
30分以上

荷役作業：荷役・附帯作業
1時間以上

項 目	内 容	補足事項
改善基準 告示の 見直し	年960時間の時間外労働規制に合わせて自動車運転者のための労働時間等の改善基準が令和4年12月23日に告示。 令和6年4月1日より適用。 拘束時間 1年 3,300時間以内 1ヶ月 284時間以内 1日 13時間以内 (上限15時間以内) 1日の休息期間 継続11時間以上 9時間を下回らない 連続運転時間 4時間以内 運転の中断は休憩する 予期し得ない事象(事故、故障、災害等)の対応に要した時間の規制適用除外が設けられました。	・ 例外 拘束時間 1年 3,400時間以内 1ヶ月 310時間以内 年6ヶ月まで 284時間超は連続3ヶ月まで 1ヶ月の時間外100時間未満に 1運行が450km以上の長距離運行 16時間まで延長可(週2回まで)
安全性 優良事業所	全日本トラック協会は令和6年12月16日安全性優良事業所の認定を行いました。 事業所(営業所)ごとに認定され、全国で29,069事業所がGマークを取得しています。 法令順守や交通安全対策などの取り組みを評価し基準をクリアした事業所を認定する制度です。	全事業所の 33.9%が 認定されて います。 
引越 事業者 優良認定	全日本トラック協会は令和6年12月13日引越事業者の優良認定を行いました。 認定事業者数は合計353の事業者です。 安全安心な引越事業者の見える化・引越業界全体のコンプライアンス向上・引越の苦情やトラブル防止のため、Gマーク取得と引越管理者講習修了者在籍が認定要件です。	苦情対応の体制や責任の所在、適切な従業員教育をしているか等を審査し、令和6年度は新たに10事業者が認定されました。 
道路運送車両法 施行規則 一部改正	令和7年4月1日より、車検を受けられる期間が延びます。 継続検査が受験可能な期間の起算日を、自動車検査証の有効期間が満了する日の2ヶ月前となりました。	自動車検査証の有効期間が満了する日の1ヶ月前から、2ヶ月前となりました。

4. 交通安全対策

項 目	内 容	摘 要
助成事業	①適性診断受診 一般2,601名 初任1,820名 ②運行管理者講習 ③運輸安全マネジメント講習 ④運転記録証明交付助成 ⑤交通安全行事(チャレンジ123)参加助成 ⑥EMS機器導入助成 ⑦安全装置等導入助成 ⑧点呼支援機器等導入助成	適齢 540名 カウンセリング40名 26,162千円 一般 1,397名 基礎 450名 8,496千円 2名 5千円 13,839名 9,272千円 4,752名 (副賞含む) 7,275千円 839台 41,950千円 560台 16,834千円 51台 3,688千円
啓発事業	①交通安全運動推進 チラシ配布 ②正しい運転明るい輸送運動 ③トラック環境美化啓発ステッカー ④交通安全幟の配布 (営業所×幟2枚) ⑤SafetyDrive大判ステッカー+カレンダー ⑥運輸安全マネジメントの取り組み啓発 ⑦年末年始の安全総点検 ⑧交通安全教室開催支援 ⑨新小学1年生への下敷き配布 ⑩テレビ、ラジオによるPR活動 ⑪反射タスキ・靴用反射材 (三重県警) ⑫安全宣言表彰グッズ(ボールペン) ⑬yahoo広告 ⑭みえ交通フェスタ (三重運輸支局主催) ⑮啓発用カレー	年4回 春/夏/秋/年末 各期の安全運動 告知情報掲載 ゴミは持ち帰ろうステッカー 交通安全 環境を守ろうノーポイ宣言 安全宣言200days取組ツール 新規事業者へマネジメントボードの配布 総点検表の配布・報告 桑員支部 15,860枚 三重テレビ、FM三重、イオンシネマなど 各5,000個 7,000本 広報事業 イベントにブース出店 2,500個
教育研修 その他 行事	①中部トラック研修センター等の活用 ②トラックドライバーコンテスト ③街頭パトロール等の活動 ④安全プラン2025目標達成セミナー ⑤安全宣言200days ⑥整備管理者研修 協力 ⑦初任運転者特別指導 (初任ドライバー研修) ⑧初任運転者指導(eラーニング講習) ⑨特殊車両通行許可制度オンライン申請説明会 ⑩陸運事業者のための安全マネジメント研修	利用者 33名 25名参加 四日市 支部活動協力 高速安協活動協力 16名 四日市 158社 3,662名参加 選任前 200名 選任後637名 延べ64名 (3回) 津・四日市 利用者 248名 13名 津 49名 四日市

5. 環境対策

項 目	内 容	摘 要
助成事業	①近代化融資（ポスト新長期車購入融資） ②低公害車導入助成 ③ポスト新長期規制適合車導入助成 ④アイドリングストップの為の機器助成 蓄熱マット、毛布7枚 ⑤省エネ走行研修助成 ⑥ISO14001グリーン経営取得継続助成	818件 5,213千円 ハイブリッド車 0台 0千円 155台 12,400千円 蓄冷機、蓄熱・温水機67台 3,803千円 18名 157千円 近代化対策事業に記載
啓発事業	①アイドリングストップ、ノーポイ運動幟 ②アイドリングストップ宣言ステッカー ③クリーンアップ地域活動支援 ④テレビ・ラジオによるPR活動 ⑤環境啓発品カレー	交通安全幟と併用 環境にやさしいトラック輸送 取組ツール 伊賀支部、南紀支部 三重テレビ、FM三重、イオンシネマなど 2,500個
教育研修 その他	①トラックの日 ②不正軽油使用防止活動 ③環境にやさしいトラック輸送 ④グリーン経営認証取得セミナー	4支部 119名 44社 取り組み宣言 4社 6名

6. 近代化対策 事業経営対策

項 目	内 容	摘 要
助成事業	①近代化融資(一般融資) ②支部研修事業助成 ③運転資金等一部利子補給 ④信用保証料助成 ⑤上位免許取得促進助成 ⑥安全衛生法資格取得支援助成 ⑦ISO14001他(取得・継続)助成 ⑧グリーン経営(取得・継続)助成 ⑨働きやすい職場認証制度助成	161件 808,770千円 3回 470千円 265件 11,912千円 29件 2,704千円 206件 13,255千円 182件 900千円 11社 550千円 13社 382千円 31社 720千円
情報提供 調査研究	①広報とらつく 月2回無料配布 ②定期発送による情報提供 ③交付金による各種助成事業の広報 ④事業報告書・事業実績報告書 ⑤燃料価格調査	全ト協より全会員へ直送 毎月1回 助成事業一覧広報配布 協会HP 報告書の提出指導と経営分析報告書 4ヶ月毎に報告
教育研修 その他	①国交省・標準的な運賃届出の促進 ②社員研修ビジネス講座 ③運行管理者試験対策講座 ④原価計算、標準的な運賃活用セミナー(2日間) ⑤引越事業者優良認定制度説明会 ⑥引越基本講習 ⑦引越管理者講習 ⑧運賃交渉等相談会	会員相談と届出促進について対応 29名 津 8月試験分 66名 3月試験分 61名 基礎編 25名 津 活用編 23名 津 youtube配信 15名 津 24名 津 3名 津

7. 労働対策

項 目	内 容	摘 要
助成事業	①睡眠時無呼吸症候群（S A S）・突発性 運転不能障害疾患検査費用助成	735名 3,678千円
	②健康診断受診助成	8,185名 23,030千円
啓発事業	①ホワイト物流推進運動 ②テレビ、ラジオによるPR活動 ③労働時間短縮に係る荷主啓発 ④標準運賃活用、荷主・会員啓発 ⑤トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会 ⑥啓発用カレー	全ト協・三ト協HPで掲載 三重テレビ、FM三重、イオンシネマなど 計画出荷・安全な輸送時間を確保・待機時間の削減 標準的な運賃、待機削減・積卸・附帯業務の料金 持続可能なトラック輸送新聞広告 2,500個
教育研修 情報提供	①過労死等防止・健康起因事故防止セミナー ②働きやすい職場認証取得セミナー ③運送事業賃金労働時間データ集 ④働き方改革特設ページ ⑤労働セミナー 物流「2024年問題」解決のため ⑥労働セミナー 赤字経営を防ぐ契約と運賃料金のあり方 ⑦労働セミナー 物流クライシス2024-II ⑧運送業ハローワーク求人説明会(就職希望者の面接会) ⑨物流見学会 ⑩求人サイトの構築 ⑪2024年問題相談窓口	17名 四日市 8名 四日市 全日本トラック協会HPで公開 127名 津・四日市 講師 森田司 21名 津 講師 森田司 200名 津 49名 会員24社 津・四日市 会員8社 一般参加者 23組70名 全ト協・三ト協HPで掲載 三ト協にて相談窓口を設置

8. 社会との共生

トラック の日 関連	トラックの日 道路清掃	4支部 7箇所 119名
	トラックフェスタ2024 in Miemu 来場5,702名	三重県総合博物館 運営:青年部会・女性部会
緊急輸送	①県広域防災拠点(伊賀) 物資入出庫訓練 ②県広域防災拠点(紀南) 物資入出庫訓練 ③県総合防災訓練事前訓練(伊勢志摩) 物資入出庫訓練 ④タンク火災消火用資機材輸送訓練 ⑤津市総合防災訓練 物資輸送訓練 ⑥名阪国道冬季チェーン装着訓練 ⑦災害物流専門家研修 ⑧県総合防災訓練(中勢) 物資輸送及び入出庫訓練 ⑨松阪管内市町 物資輸送訓練 ⑩能登半島地震 緊急物資輸送振り返り座談会	三重県、伊賀市、名張市 三重県 三重県 中京地区防災センター～出光興産知多 市物資拠点(陸自久居駐屯地) 中部地方整備局、県建設事務所他 県広域防災拠点(中勢) 三重県 三重県、松阪市、明和町、多気町、大台町 三重県、緊急物資輸送従事者

9. 適正化事業

巡回指導 パトロール 活動	①事業所巡回指導 ②新規巡回・労働時間特別巡回(内数) ③適正化事業街頭パトロール ④適正化調査員活動(トラック物流Gメン)	546社 新規37社 労働時間労基通報3社 不法駐車・所在不明事業者調査 222社
啓発事業	①過積載防止荷主啓発チラシ ②テレビ、ラジオ、映画館によるPR活動	過積載防止対策連絡会議参画 三重テレビ、FM三重、イオンシネマ
教育研修 その他 行事等	①新規事業者指導 ②個別指導・相談 ③物流セミナー 「能登と日向灘に学び南海トラフ地震に備える」 ④安全性優良事業所認定 説明会 (Web) ⑤安全性優良事業所 Gマーク認定 ⑥事故防止セミナー(ドライバーの健康起因・過労死を防ぐアプローチ) ⑦安全プラン2025目標達成セミナー ⑧初任運転者特別指導講習(ドライバー研修) ⑨初任運転者指導(eラーニング講習) ⑩トラックドライバーコンテスト ⑪特殊車両通行許可制度オンライン申請説明会 ⑫原価計算、標準的な運賃活用セミナー(2日間) ⑬陸運事業者のための安全マネジメント研修 ⑭働きやすい職場認証セミナー ⑮労働セミナー ⑯グリーン経営取得セミナー ⑰運送業ハローワーク求人説明会(就職希望者の面接会) ⑱物流クライシス2024-II(2024年問題解決に向けて) ⑲物流革新2025 ⑳物流DXの動向説明会 ㉑高速道路料金深夜割引説明会 ㉒運賃交渉等相談会	通年相談業務 都度実施 96名 ホテルグリーンパーク津 講師 福和 伸夫 氏 Web21名 申請受付(新規13、更新169) 17名 以下の項目は一部交通安全対策事業に併記 16名 四日市 延べ64名(3回) 津・四日市 利用者 248名 25名 四日市 13名 津 基礎編 25名 津 活用編 23名 津 49名 四日市 9名 四日市 21名 津 12名(2回) 津 49名 会員24社 津・四日市 200名 総合文化センター 274名 総合文化センター 26名 津 66名 津 3名 津

10. その他

青年部会	青年塾 ①令和6年6月15日 41名 「新たな仲間「外国人運転手」活躍時代が やってくる！特定技能について学ぼう！」 ②令和6年12月14日 34名 「2024年問題の振り返りと、今後の対策」 ③令和7年3月15日 34名 「能登半島地震、災害復旧等の取り組みなど」	講師 国際支援マネジメント協同組合 代表理事 芥川 聡 様 講師 (株)NPシステム開発 支店長 可児 勝昭 様 講師 石川県トラック協会 青年部会 様
女性部会	部会ミーティング 4回 中部ブロック女性協議会代表者会議 1回 女性部会勉強会 令和6年7月23日 「ドライバーの採用面接の方法や採用基準」 「採用後のトラブル対応」について 女性部会勉強会 令和6年10月3日 「職場のメンタルヘルス対策」 全国研修会 令和6年9月13日 「2024年問題解決に向けた トラックGメンの活動状況」 中部ブロック研修会 令和6年11月26日 研修会「避難所運営ゲームHUG」 避難所運営をみんなで考えて疑似体験する	活動打合せ・情報交換・意見交換 中部ブロック研修会等について 講師 総合経営労務センター 代表社員 藤田 直樹 様 (株)エンジョイ 黒川 哲至 様 講師 三重県産業保健総合支援センター 田中 郁子 様 講師 国土交通省中国運輸局 自動車交通部貨物課長 田中 幸久 様 進行 愛知県岡崎市防災課の皆さま
情報提供 その他	①トラック税制の基礎知識 ②関係機関への陳情活動	全日本トラック協会ホームページで公開 県選出国會議員 政党県連 県議会会派
事業者 大会	全国トラック運送事業者大会 テーマ「2024年を『物流改革元年』に」	開催地 熊本市 記念講演 「名将の言葉 - 武人の生き様と美学」 歴史学者(東京大学教授) 本郷和人氏
運行管理 者試験	① 第1回試験 8月 3日～9月 6日 ② 第2回試験 2月15日～3月16日	受験者数454名 合格者数145名 受験者数357名 合格者数127名
	運行管理者試験対策講座	津と四日市で開催

付属明細書については、該当事項がないため作成していない。